



基安労発 0728 第 2 号

平成 29 年 7 月 28 日

建設業労働災害防止協会会長 殿

厚生労働省労働基準局

安全衛生部労働衛生課長

ヒアリへの対応について（注意喚起）

労働衛生行政の運営につきましては、日頃から格別の御理解・御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成 29 年 5 月に兵庫県尼崎市において「ヒアリ」が発見され、その後全国各地で発見が相次いでいます。ヒアリに刺された場合、疼痛、搔痒感、水疱等の症状が生じ、場合によってはアナフィラキシー症状が生じることもあることから、適切な対処が必要となります。

つきましては、貴団体におかれましても、ヒアリの特徴、生態、駆除方法、刺された時の対処方法等についてまとめられている環境省ホームページを参照の上、本件に関し会員や関係事業場に対する周知及び指導を行っていただくとともに、当該事業場が対策を実施される際には、特段の御配慮を賜りますようお願いいたします。

○環境省ホームページ

<http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/fireant.html>



ヒアリ（火蟻）に注意

ヒアリは、これまで日本では見つかっていませんでしたが、6月以降、各地で見つかっています。ヒアリの多くは、外国から運ばれてきたコンテナの中や、コンテナを水揚げするコンテナヤードで見つかっています。



特徴

- ・ 体長は 2.5mm～6.0mm ほどの小さな赤茶色のアリです。
- ・ 南米原産ですが、北米、中国、オーストラリアなどで定着しています。
- ・ 土で大きなアリ塚を作り、集団で生活します。
- ・ 攻撃性が強く、棒などで塚をつつくと、集団でワッと出てきて襲いかかります。

アリ塚

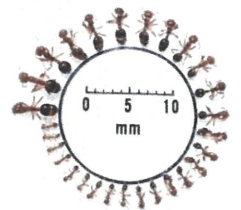


見分け方

小さいため見分けるのは難しいですが、肉眼でわかる特徴もあります。

- ・ 赤っぽくツヤツヤしている。腹部（おしり）の色は暗め。
 - ・ 働きアリの大きさは 2.5mm-6.0mm。色々な大きさのアリが混じっている。
- 違う種類：黒いアリ、2.5mm 以下の小さなアリ、6.0mm 以上の大きなアリ

いろいろな大きさがいる



S.D. Porter, USDA-ARS

お願い

ヒアリに似たアリの集団がいて、駆除をお考えの場合は、最寄りの環境省の地方環境事務所や、都道府県の環境部局にご相談ください。

ヒアリが集団でいる場合は、むやみな駆除は拡散させるおそれがあるほか、日本には在来のアリ（270 種以上）がいて、生態系の中で重要な役割を担っており、全てのアリの駆除してしまうことは、日本の生態系を壊してしまうことにつながりかねません。

もしも、アリに刺されたら

- ・ ヒアリであれば、刺された時に熱い！と感じるような激しい痛みがあります。かゆみ、腫、はれ、じんましんや、アレルギー症状が重篤な場合はアナフィラキシー症状（呼吸困難、血圧低下、意識障害）を引き起こす可能性もあります。
- ・ 異変を感じた場合は、直ちに医療機関を受診してください。

ヒアリに気をつけて

これまで存在していなかった危険な毒アリが国内で現れています。
もし発見しても、**決して触らないでください！**



ヒアリが作る大きなアリ塚



葉っぱ上のヒアリ

💡 大きなアリ塚が目印

日本のアリは、大きなアリ塚を作りません。
大きなアリ塚を発見したら、触らず、すぐに通報を。

💡 ヒアリかな？と思ったら

ヒアリのような蟻を見つけたら、自分で駆除せず、お近くの地方環境事務所か都道府県の環境部に通報を。

通報先 ●●県 環境部 (例：東京都 環境局)

検索

💡 もし、刺されて、少しでも異常を感じたら すぐに近くの病院へ。

アリに刺された旨を伝えて受診してください。
ヒアリの毒への反応は、人によって大きく異なります。

ヒアリ FIRE ANT

大きさ 2.5mm~6.0mm

特徴 ●カラダは赤茶色
●腹部に2つのこぶ
●お尻に毒針

刺されると、強い痛みを伴いアレルギー症状がひどくなると重症化することもある。

ヒアリに関する情報

ヒアリの発生場所も確認できます

<http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/fireant.html>

(環境省ホームページ)

